

科目名	市民自治制度論
担当者	片木 淳
配当学期	春学期
単位	2単位
講義概要	<p>「住民意思」を反映した地域主権を実現していく観点から、住民による直接民主制と地方議会を通じた間接民主制のあり方を中心に、「団体自治」と並ぶ地方自治のもう一本の柱である「住民自治」のあり方について論じていく。</p> <p>具体的テーマとしては、古代ギリシアの直接民主制、議会基本条例、自治基本条例、住民投票、市民参加・協働、地域コミュニティ、地方議会とマニフェスト型選挙、インターネット選挙運動、首長の多選禁止、外国人の地方参政権等「住民自治」と地方議会に関する重要課題を取り上げ、民主主義および地方自治における議会と住民の本来のあり方について考察を進める。</p>
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地方議会の現状と改革課題</li> <li>(2) 議会基本条例と「住民自治」</li> <li>(3) 自治基本条例と「住民自治」</li> <li>(4) 日本の直接請求制度と改革課題</li> <li>(5) ドイツの州と自治体の住民投票制度</li> <li>(6) 古代アテネの直接民主制</li> <li>(7) 直接民主制と間接民主制</li> <li>(8) 地方自治体選挙の状況と課題</li> <li>(9) マニフェスト型選挙と地方議会</li> <li>(10) インターネット選挙運動と選挙運動規制</li> <li>(11) 首長の多選禁止と「住民意思」</li> <li>(12) 外国人の地方参政権と「住民自治」</li> <li>(13) 「住民意思の反映」から見た平成の大合併</li> <li>(14) 市民協働と地域コミュニティ</li> <li>(15) 住民意思を反映した地域主権改革とその展望</li> </ol>
評価方法	<p>相対評価を加味した絶対評価</p> <p>○ 出欠、授業中の質問・意見発表 40点</p> <p>○ 期末課題レポート 60点</p>
学生へのコメント・参考文献等	<p>侃々諤々の議論を期待したい。</p> <p>(参考文献) 片木淳『地方行政キーワード』(加除式、ぎょうせい)</p>